

Weekly Report

(2013年4月第2週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（4/1 - 4/5）の動き

週初は株式市場では売りが目立ち、日経平均は一時1万2千円の大台を割り込む場面もあった。しかし、日銀政策決定会合で予想を上回る大幅な金融緩和策が決定されたことから（4日木曜日）、一気に買いが入り、翌日には1万3千円の大台に載せる場面もあった。しかし、引けにかけては手仕舞いの売りが入り、前週末比3.51%の1万2,833円で一週間の取引を終えた。

セクター別では、金融緩和の恩恵が大きい不動産、その他金融、銀行が上昇上位に並んだ。下落は、非鉄、卸売、鉄鋼など素材関連となった。スタイルインデックスは、コア30、ラージ70の時価総額上位が上昇上位となり、東証2部指数やマザーズ指数など小型株指数が下落上位となった。

日銀政策決定会合では、①金融市場調整の操作目標をオーバーナイト金利からマネタリーベースに変更し、マネタリーベースを今後2年で現在の2倍とすることを目標とする。②長期国債の保有残高が年間約50兆円で増加するように買入を行い、長期国債の買入れ対象を40年債を含む全ゾーンに延長し、買入れの平均残存期間を7年程度に延長する。③ETF、J-REITの保有残高がそれぞれ年間約1兆円、約300億円に相当するペースで増加するよう買入れる。④質的・量的金融緩和の継続、⑤資産買入れ基金を廃止し、長期国債買入れに吸収する。⑥銀行券ルールを一時適用停止する、ことが発表された。事前報道では、予想されていた緩和策（国債の買取年限を5～10年に延長、従来型オペと基金枠の統合）ですら一気に発表されることは無いだろうとの見通しだったものの、予想を上回る内容が一気に発表されたことから、その日のうちに、日経平均は1万2,200円から1万2,630円まで上昇、ドル円は92円90銭から96円台まで円安が進み、10年金利は0.436%（-0.11%）、30年金利は1.289%（-0.22%）となった。翌5日の15時半時点では、ドル円96円26銭、10年金利0.523%（+0.087%）、30年金利1.204%（-0.085%）となった。

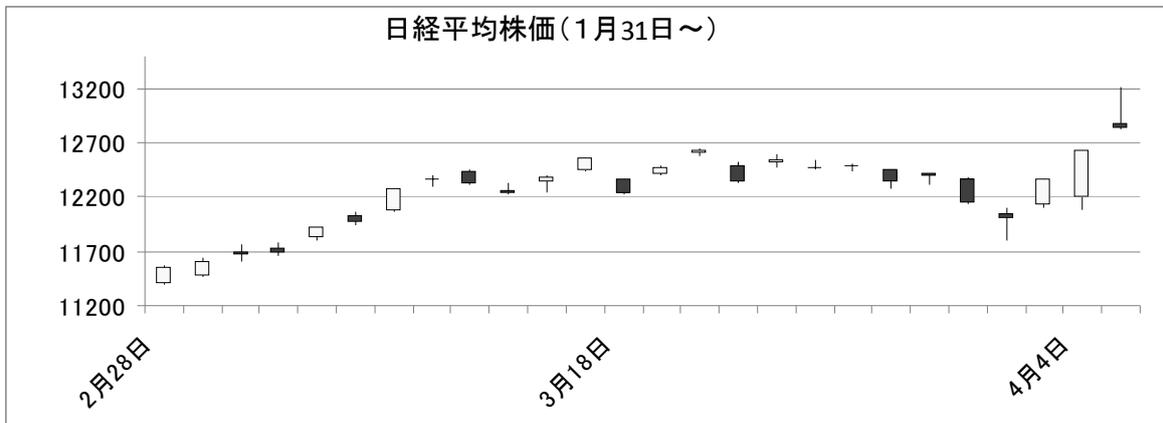
セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)				
不動産業	22.63%	パルプ紙	-10.36%	コア30	3.89%	ミッド400	1.79%
その他金融	11.08%	空運	-3.84%	TOPIXL70	3.71%	TOPIXスモール	1.73%
銀行業	7.99%	非鉄金属	-3.45%	日経平均株価	3.51%	REIT指数	1.18%
ゴム製品	6.78%	卸売業	-3.30%	TOPIXグロース	3.48%	東証2部	-0.26%
陸運	5.72%	鉄鋼	-3.30%	TOPIX	3.05%	マザーズ	-5.87%
小売業	5.11%	ガラス土石	-3.17%	TOPIXバリュー	2.62%		

● 各国の主要経済指標

日銀短観（1Q）は大企業製造業業況判断が-8（予想-7・前回-12）、先行き-1（予1・前-10）、非製造業業況判断が6（予8・前4）、先行き9（予11・前3）と全て前を上回ったものの予想に届かず。

米国のISM製造業指数（3月）は51.3（予54・前54.2）と予想、前月を大幅に下回った。

新規受注、生産、受注残の低下が目立つ反面、雇用は拡大を示した。雇用は ISM 非製造業指数（3月）も 54.4（予 55.5・前 56）と7ヶ月ぶりの低水準。新規受注、雇用の低下が目立つ。ADP 雇用統計（3月）は 15.8 万（予 20 万・前 19.8 万→23.7 万）、新規失業保険申請件数（前週分）は 38.5 万（予 35.3 万・前 35.7 万）と共に予想・前回分を下回り、週末に発表される雇用統計に不安を感じさせる内容となった。



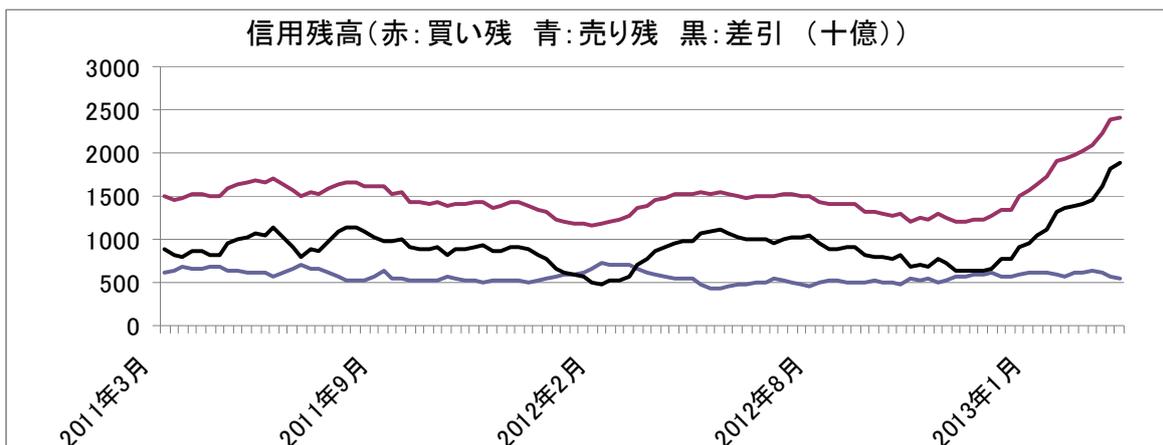
今後の注目材料

事前予想を上回る追加緩和策が日銀から発表され、目先の不安感が消えた。今後も株価は強い展開が継続するだろう。これほどの緩和は予想外だったために、不動産やその他金融、銀行などへの物色は継続されるだろう。また、円安も一段と進むであろうことから、輸出関連銘柄への買いも有効となると思われる。

海外では最近の米国の経済指標の不調や、欧州財政問題、北朝鮮問題など課題も多いが、日本では、日銀による大きな政策転換が日本の金融市場を動かす主要な材料となる展開が当面続くだろう。

株式市場の需給動向（前週分）

投資部門別売買動向では再び海外投資家が買い越し、個人が売り越しとなった。信用買い残高は増加を継続。裁定買い残高も増加した。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/3/29	65.73	-64.98	47.02	-34.21	-198.88	-75.46	272.52
2013/3/22	78.80	-88.61	-19.95	-28.14	-251.28	313.68	-91.86
2013/3/15	52.13	-38.63	-52.83	154.14	-248.70	-30.44	457.42
2013/3/8	-299.71	301.19	-28.53	-70.80	-199.99	-278.30	1017.28
2013/3/1	12.24	-3.21	-36.12	234.65	-61.59	-157.34	295.80
2013/2/22	63.34	-59.81	-24.60	23.59	-172.48	-63.35	224.96
2013/2/15	11.01	-18.36	-28.18	-3.27	-219.08	80.19	182.85

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会